

# 香川県

# 家具類の転倒防止対策

今後30年以内の  
南海トラフ地震の発生確率は

# 70~80%!!

※基準日：令和5年1月1日



## 家具類を固定していないと…

転倒・落下・移動等により

**ケガをする、避難路が断たれる、火災が発生する**

などの深刻な被害が起きる可能性があります!

日頃から家具の固定や配置を工夫して地震に備えましょう。



矢守克也氏(京都大学防災研究所・教授)提供

## 家具類の転倒・落下防止対策による死傷者の軽減



香川県地震・津波被害想定調査報告書では、家具類の転倒・落下対策によって死傷者数を4分の1に軽減できるとの想定が示されています。

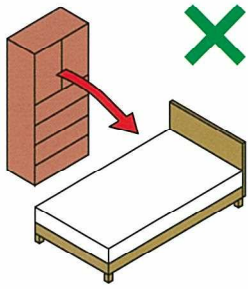
特に津波浸水想定区域であるなど、水平避難の必要がある場合や、マンションなどの中高層等の揺れが大きい場合などでは、特に重要な減災対策です。



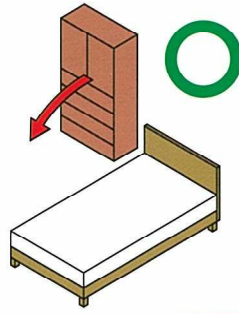
# まずは確認! できるところから始めましょう!

# 安全な空間の確保!

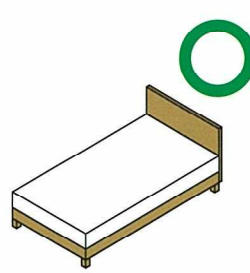
固定していないと寝ている  
ところに倒れてくる



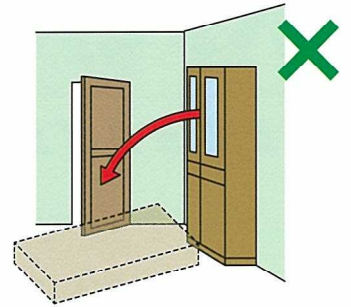
向きを変えて  
家具を固定する



寝室に家具を  
置かないのがベスト



出入口付近に  
家具を置かない



## POINT

- 家具類の転倒・落下・移動等によってケガをしたり、倒れた家具類によって、ドアが開かなくなったり、避難通路や出入口がふさがれないようにするため、**家具類の配置、向きを考えよう!**
- 「寝る場所」や「座る場所」の近くには**なるべく家具を置かない**ようにしましょう!  
置く場合は、配置と向きに注意!
- 家具に収納する物は、重いものを下のほうに収納し、**重心を低くして家具が倒れにくく**しよう!


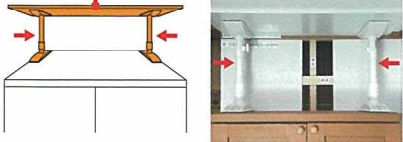

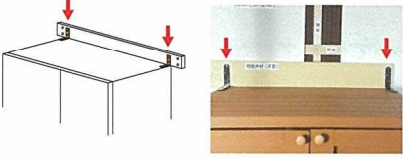

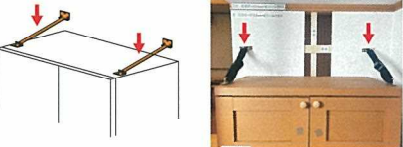
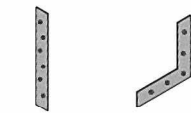
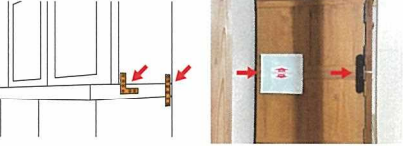

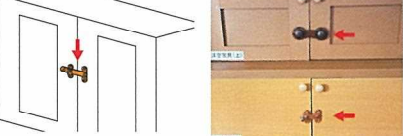



## 固定器具の効果


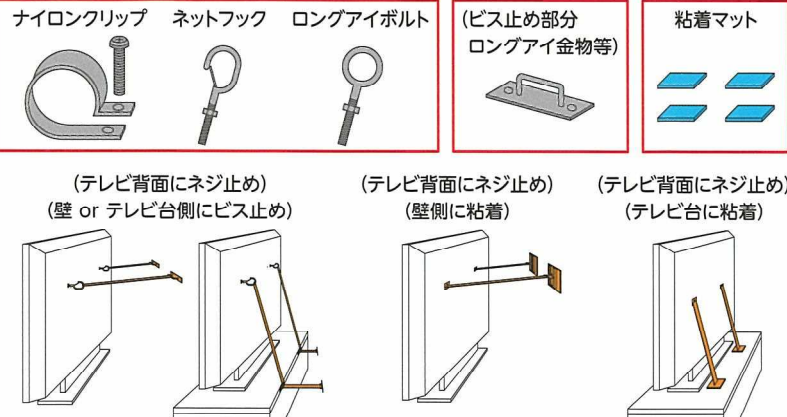

使用条件	小 ← → 大					
単独使用	ストッパー式 	粘着式 	ポール式 (1本足) 	ポール式 (2本足) 	ベルト式 	L型金具 (上向き取付) 
	マット式 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 粘着性のもので家具等の木材には不適</li> <li>● 大きな家具には不適</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 耐用年数に注意</li> <li>● 接着面の材料の適否に注意</li> <li>● 接着面を清掃して取付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 天井側(上部)に当て板を設置</li> <li>● 家具側(下部)は芯材の上部に設置</li> <li>● ストッパー式と併用すると効果大</li> </ul>		ワイヤー式 	ストッパー式と併用すると効果大 (ストッパー式と併用すると効果大)
組合せ使用	ポール式(1本足) ポール式(2本足) + ストッパー式 			ベルト式 ワイヤー式 + ストッパー式 		

ビスによる固定の場合は、壁側は下地に固定  
家具側は天板の芯材に固定

# 代表的な家具の固定方法

<p>ポール式</p>	<p>1本足 2本足</p> 	<p>当て板</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工具を必要とせず、比較的取り付けやすい固定方法です。</li> <li>● コンクリート等、強度のある天井を除き一般的な天井には当て板を設置してポール式を設置します。</li> <li>● 長さが短いほど効果があります。</li> <li>● 転倒防止プレートと併用すると効果大です。</li> <li>● 家具天板の左右の奥に垂直に設置します。</li> <li>● 取付け向きは左のイラストの向きです。</li> <li>● 壁と天井のコーナーを注視し、締めすぎないようにします。</li> </ul>
<p>L型金具</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最も効果的な家具の固定です。</li> <li>● L型金具は壁の下地材(柱、間柱、胴縁等)、家具の芯材に固定します。</li> <li>● 壁の下地材の位置、家具の天板の芯材位置はセンサー、プッシュピン等で調べます。</li> <li>● 家具天板の芯材の位置にL型金具を取り付けようとする、壁側が柱や間柱の位置とは限りません。この場合、柱や間柱、または、家具の天板に補助木材を取り付けてL型金具を設置します。</li> </ul>
<p>ベルト式</p>	<p>ロングアイ金物等</p> 		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 胴縁(横下地)がある場合や和室で有効な固定方法です。既製品の固定器具の他、ロングアイ金物等とベルトやロープを組み合わせることで固定することもできます。</li> <li>● 壁にベルト金物を固定する場合、洋室の場合は壁の下地材(柱、間柱、胴縁、窓枠下地、ドア枠下地等)に取り付け、和室の場合は柱、鴨居、付鴨居(強度のあるもの)、廻縁などの造作材に取り付けます。</li> <li>● 家具天板の芯材位置にビス止めします。</li> </ul>
<p>上下連結</p>	<p>一文字金物 平隅金物</p> 		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 側板の芯材位置にビスで固定します。</li> <li>● 上下の奥行の異なる家具の場合、側板の前の固定には平L金物、後ろは一文字金物が適しています。(上下の連結位置に注意)</li> <li>● 粘着式のシートもあります。</li> </ul>
<p>扉の固定</p>	<p>締付打掛 耐震ラッチ 粘着式</p> 		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 耐震ラッチは内部に取り付けます。</li> <li>● 粘着式のものもあります。</li> </ul> 

# 冷蔵庫・テレビの固定方法

<p>冷蔵庫 (ベルト式)</p>	<p>(壁側ビス止め部分:ロングアイ金物等) 冷蔵庫側:持ち手</p> <p>(壁側:粘着) 冷蔵庫側:持ち手</p> <p>(壁、冷蔵庫側共:粘着)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷蔵庫の背面上部の持ち手と、壁にビス止めたロングアイ金物等をベルトやロープで結んで固定します。</li> <li>● 壁に粘着式のベースを取付けて冷蔵庫背面上部の持ち手とベルトで結ぶものもあります。</li> <li>● 壁と冷蔵庫ともに粘着するタイプもあります。</li> <li>● 粘着式は耐用年数、壁側の接着面の材料の適否に注意し、接着面を清掃して取付けします。</li> </ul>
<p>テレビ (ベルト式)</p>	<p>テレビ背面</p> <p>ナイロンクリップ ネットフック ロングアイボルト</p> <p>壁面・テレビ台</p> <p>(ビス止め部分) ロングアイ金物等</p> <p>テレビのベース部分</p> <p>粘着マット</p> <p>(テレビ背面にネジ止め) (壁 or テレビ台側にビス止め)</p> <p>(テレビ背面にネジ止め) (壁側に粘着)</p> <p>(テレビ背面にネジ止め) (テレビ台に粘着)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テレビ背面のネジ穴(メーカーによって径が異なる)にナイロンクリップやネットフック、ロングアイボルトを取付け、壁側にロングアイ金物等を取付けてベルトやロープ、専用固定器具を使って固定します。</li> <li>● テレビ背面のネジ穴(メーカーによって径が異なる)に固定し、壁やテレビ台に粘着するタイプもあります。</li> <li>● テレビのベース部分に粘着マットを併用しましょう。</li> </ul> 

## 転倒防止対策のチェックリスト

チェック項目	ポイント
<input type="checkbox"/> 家具類の置き場所	「寝る場所」や「座る場所」の近くには背の高い家具や大きな家具を置かないようにしましょう。避難経路がふさがれないようにするため、廊下、玄関、扉の前には家具を置かないようにしましょう。
<input type="checkbox"/> 家具の向きに注意	ベッドなどに向かって倒れてこないよう、家具の向きを見直しましょう。家具の上に物を置かないようにしましょう。
<input type="checkbox"/> 家具の重心を下げる	家具の上部に重い物を入れていると倒れやすくなります。重い物は下部に、軽い物は上部に配置換えしましょう。
<input type="checkbox"/> 家具類の固定	家具の固定には、様々な固定方法・固定器具があります。内面の記載事例を参考に、固定方法を検討しましょう。
<input type="checkbox"/> ガラスの飛散防止	ガラスの扉が付いている家具は、地震の際にガラスが割れ、中身が飛び出す可能性があります。窓ガラスも含め、飛散防止のためのフィルムを貼るなどの対策をしましょう。

住宅を新築やリフォームされる方は、建築会社や大工さんをお願いして家具類を置く予定箇所の壁材をビスの効く面材にするなど、家具の内部から固定できるように事前に対策をしておく、見栄えよく固定できます。

## 香川県家具類転倒防止対策相談窓口

県危機管理課に家具類転倒防止相談窓口を設置しています。

家具の固定について、疑問点などがございましたら、下記の相談窓口までお問い合わせください。

県の職員が主な家具の固定方法や器具の紹介、県内市町の補助制度の

紹介等相談に応じます。

出前  
講座

固定  
方法

器具の  
紹介

市町の  
補助



お問合せ先(電話・FAX・メールでご連絡ください。)

〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10

香川県危機管理課 南海トラフ地震・防災企画グループ

T E L / 087-832-3242 F A X / 087-831-8811

E-mail / kikikanri@pref.kagawa.lg.jp

